

## 廣田 光さんの感想文

沖縄に行く当日、私はいとこと一緒だったので八日市のICと一緒に行きました。そしてバスで空港に向かい無事着き飛行機に乗りました。飛行機は上がるときと下がる時がこわかったです。沖縄につきまらずは旧海軍司令部壕に行きました。中は少し肌寒かったです。ガイドさんにこの壕の中に発電機があった事を聞きました。その当時発電機があるのはすごいと思いました。次にひめゆりの塔に行きました。そこには12mもの深さのながぐつ型の穴がありそこでケガ人を手あてしていたと聞きました。それはとても大変だっただろうなと思いました。そこで犠牲になった人の名前が慰霊碑に刻んでありました。それを見て尊い命がなくなってしまったんだなと思いました。ホテルでは本当に戦争のことを体験した人の話を聞きました。その人がいたガマでは始めは薬や包帯などがあったけど、ケガ人が増加してほとんどない状態になり、麻酔なしの手術などが行われたと聞きました。私はされる側もする側もいやだと思いました。二日目は近江の塔に行きました。そこにはたくさんの名前があり戦争の悲惨さを感じました。平和祈念公園でも亡くなった人の名前がありその数の多さがあまりにも多く信じたくありませんでした。平和祈念資料館では戦争の写真などがおいてあり見ていてとてもこわかったです。そして糸数アブチラガマに入りました。とても暗くてむし暑い所でした。かい中電灯なしではうごけないほどでした。よく兵隊の人たちは行動できたなと思いました。沖縄陸軍病院南風壕群20号もアブチラガマと同じで暗くむし暑かったです。20号の中には青酸カリや手榴弾を渡され、自決をするように強要されたと聞いて改めて戦争のこわさを感じました。私がこの沖縄で学んだことは戦争とは、あってはならないことだと言うこと。戦争をおこさないように戦争のこわさを伝えることだと思いました。



## 廣田 渚さんの感想文

3月25日～27日まで、次世代戦跡訪問事業に参加させていただきました。飛行機には小さい頃1回乗った事があり、怖いイメージが残っているので、今回もドキドキして乗りました。那覇空港に着き、旧海軍司令部壕、ひめゆりの塔に、1日目は回りました。その中で1番印象に残ったのは、旧海軍司令部壕の大きさです。その中に、司令官室、医療室などいくつもの部屋があり、びっくりしました。2日目は、近江の塔、平和祈念資料館、系数アブチラガマ、南風原陸軍病院壕文化センターに行きました。系数アブチラガマの中が、ライト無しでは、歩けない状態だったのに、そこで住んでいた人は、大変だっただろうなと思いました。3日目は、嘉数高地、対馬丸記念館に行きました。対馬丸記念館では、その時の人が、背負っていたランドセルがあり、今のより、大きさが小さいなと思いました。色んな所を回り、勉強をする事が出来て良かったです。他の学校の友達とも、仲良くする事が出来、夜遅くまで色々な話をしたりして、とても楽しい時間を過ごしました。沖縄は、暖かいと思っていたので、それなりの服で行ってしまい少し寒かったです。心残りと言えば仲良くなった友達とアドレス交換しておけば良かったと思います。来年又、こういう機会があれば、ぜひまた参加したいと思うほど、良い思い出になりました。滋賀県遺族会の皆さま貴重な経験をさせて頂きありがとうございました。

